第４回Ｍサポカフェ　新春を彩る苔玉作り

「多くの方々にMサポに親しんでいただけたら」との思いで、昨春スタートした「Mサポカフェ」。４回目は１２月７日、苔玉づくりのワークショップをMサポ・交流スペースで開催しました。講師に登録団体「苔玉　草の風ごったく広場沼田」代表の福田君子さんを迎え、１１歳の男の子から７０代まで幅広い年代の３０人が参加くださいました。

「新春にふさわしく、おめでたい雰囲気で」と福田さんが用意してくださった材料は、シクラメン、常緑クレマチス、南天など。「置き場所は、日当たりの良いカーテンの内側が最適」「苔が乾いてきたら、バケツに水を入れて浸して」「世話をすれば長くもつもの」などと、作り方や育て方について指導。ユーモアあふれるトークで、会場は和やかムードでした。

完成作を手にした参加者からは「いいお正月を迎えられそう」「季節にちなんだ苔玉をまた作りたい」「福田さんの話術で楽しかった」など、うれしい声が。皆さん、ありがとうございました。

福田さんは、２月２８日(土)開催の「Mサポふれあい祭り」でも苔玉づくりを指導くださいます。参加希望の方は、２０人定員(先着順)ですので、来場はお早目に。(※概要は３ページの開催案内をご参照ください)

講師の福田さん(中央)を囲んで

最年少１１歳は「苔好き」少年

根を土で包むように植え込み、成形

第５回Ｍサポカフェ　幸せになる片付け術

講師の野口さん

第５回Ｍサポカフェは、ハビタット・ナビゲータの野口夏帆瑠さんを講師にお迎えしました。

今回の企画は時宜を得たものとなり、３０人定員のところ１００人近い申し込みがあり、１０人の定員枠を増やしましたが、お断りをする方が多くなってしまい申し訳ありませんでした。

「なぜ片づけることが必要なのか」「なぜ片づけをすると幸せになれるのか」等諸説のピックアップにはじまり、脳のデータ量等科学的データも交えて話されました。

次に実践編に突入。段取りとしては、①片づけたいものを全部出す→分けて減らす→しまう→不要なものを処分する②小さなものこそ定位置を決め、収納場所、収納方法を考えるということ。また、モノ別、部屋別片づけ方のコツ、具体例としては、①洋服は全て着て判別する②写真や本は大切な物のみ選び残すーなどと紹介されました。

掃除のポイントとして、使用する洗剤は重層とクエン酸、セスキ類で事足りるとのこと。また、家事の時短方法として、自分流の法則を見つけることが重要と話されました。

最後に「今日から挫折しにくい個所から始め、続けることを習慣化しましょう!」と応援メッセージがありました。

参加者の皆さんは盛りだくさんのお話にうなずきながら、真剣にメモを取っていました。野口さんは、現在、個人宅や事業所に赴いて片づけ指導もされ、今後の活躍が期待されます。

野口さんは、Mサポふれあい祭りの「ＮＰＯ住まいづくり相談室」のブースで、片付け術ミニセミナーを１１時と１４時の２回開催しますので、ぜひお出かけください。

Mサポ ふれあい祭り

来て！ 見て！ 笑って！ つながろう！

市内の市民活動団体約５０団体が大集合し、団体同士や、団体と市民の皆様が交流する年に一度のお祭りです。「市民活動・ボランティアを始めてみたい」「他団体と交流したい」「ボランティアの力を求めている」、そんな方にお勧めです。お子さんが楽しめるイベントも盛りだくさん。お誘い合わせてぜひお越しください！

キャラクター撮影会
ぐんまちゃんたちと写真を撮ろう！

市民活動団体プレゼンテーション・パフォーマンス

実演・体験コーナー
楽しい体験がいろいろできます♪

１Ｆ まえばしＣＩＴＹエフエム前
防災ツール ロケットストーブの実演

2/28 土

10:00-15:00 入場無料

会場：前橋プラザ元気21 3階

祭りの見どころを「Ｍサポふれあい祭り」専用facebookページでチェック!
https://www.facebook.com/msapo.fureaimatsuri2

活動紹介
工夫をこらしたパネル展示

食のコーナー

主催：Ｍサポふれあい祭り実行委員会
共催：前橋市
問合せ：実行委員会事務局(Ｍサポ)　電話：027-210-2196

Ｍサポスタッフの

ぶら～り ボランティア探しの旅
大河ドラマをきっかけに大活躍！
前橋学市民学芸員

今年のＮＨＫ大河ドラマ「花燃ゆ」で、大沢たかおさん演じる「小田村伊之助」は、後に「楫取素彦」と改名し初代群馬県令(県知事)となった方で、近代群馬の礎を築いた名県令といわれています。県庁昭和庁舎内にオープンした「ぐんま花燃ゆ大河ドラマ館」から、楫取素彦ゆかりの地である迎賓館「臨江閣」まで徒歩15分ほどの道のりをご案内しているのが、「前橋学市民学芸員」の皆さんです。そのお一人、深澤泰明さんのガイド活動に同行させていただきました。

県庁昭和庁舎をはじめ群馬会館、楫取県令の功徳碑など、途中にある史跡等の説明をしながら、お客様のペースに合わせて臨江閣を目指します。高齢の方や身体の不自由な方には、階段を避け交通量の少ないコースをとるなど、安全に配慮しているそうです。親しみのある語り口の深澤さんのガイドを受けた方は、初めて知ることが多かったようでとても感心されていました。「『ありがとう』と感謝されることが一番のやりがい」と深澤さん。「今までずっと地域にお世話になってきたので恩返しがしたい」と前橋学市民学芸員の養成講座に参加したそうです。今後は、「前橋の発展を支えた製糸業の歴史について、前橋の生糸商人が活躍した横浜市に視察するなどして、より深く学びたい」と抱負を語ってくださいました。

前橋学市民学芸員の皆さん
(左が深澤さん)

自分なりの解説を加えて説明

大河ドラマ館を訪れたら、勉強熱心で親切な前橋学市民学芸員さんのガイドで、臨江閣へもぜひ足を延ばしてみてくださいね。

ゴールの臨江閣